

科目名	看護解剖生理学Ⅴ 感覚・免疫系（外部からの情報取り入れるしくみ、異物を認識して排除するしくみ）				DP4 DP6	看護高等課程	
学年	1年	分野	専門基礎 人体のしくみと働き	時間数	13時間	担当 教員	浦 恵（7） 成瀬 育生（6）
科目概要	人体の解剖生理学の知識は、看護の重要な役割である日常生活行動の援助の土台となる。また、ほとんどの日常生活行動は、複数の器官が関与して行われる複雑な機能であり、生活行動の観点から学ぶ。ここでは、感覚・免疫系の解剖生理から外部からの情報取り入れる、異物を認識して排除するしくみを学ぶ。						
到達目標	1. 外部から情報を取り入れるしくみを理解することができる。 2. 異物を認識して排除するしくみを理解することができる。						
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員
1～3	感覚器の生理	感覚の一般的性質、感覚の種類				講義	浦
	皮膚の構造と生理	外皮、皮膚の働き					
	味覚器の構造と生理	味覚器の構造、味覚の生理					
	嗅覚器の構造と生理	嗅覚器の構造、嗅覚の生理					
	視覚器の構造と生理	視覚器の構造、視覚の生理					
	平衡聴覚器の構造と生理	平衡聴覚器の構造、平衡感覚の生理、聴覚の生理					
4～6	免疫とは	免疫応答、免疫の種類、免疫に関わる細胞				講義	成瀬
	免疫機構による病変	アレルギー（Ⅰ型、Ⅱ型、Ⅲ型、Ⅳ型）					
		自己免疫疾患、移植免疫、免疫不全症候群					
7	試験	(1時間)				試験	
評価基準	浦（50点）、成瀬（50点）の合計100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。						
評価方法	出席状況と講義への参加態度、筆記試験などで総合的に評価する。						
教科書	看護学入門1 人体のしくみと働き 看護学入門9 成人看護Ⅱアレルギー疾患・膠原病患者の看護 看護学入門3 疾病の成り立ち 病理学総論 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							